

研究主題 「一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育の推進」に関する本校の実践

学校名 白岡市立白岡東小学校
み

1 教師と児童生徒の信頼関係を築くために、あるいは、いじめ・暴力行為・不登校等の生徒指導上の課題を解決するために、小・中連携（小中一貫）をとおして具体的にどのような取組をしているか。

1 本校の概要	児童数 489名 学級数 16 教職員数 25名 補助員 3名
学校教育目標	思いやりのある子 進んで学ぶ子 たくましい子 (やさしく) (かしこく) (たくましく)
目指す学校像	○ 学習の基礎・基本を身に付け、活用できる子 ○ 思いや考えを伝え合い、よりよい人間関係を築ける子 ○ 健康や体力を高め、根気よくやりぬく子
学校経営、 学校運営の視点	①「即今着手・一気呵成」の姿勢で課題を後回しにせず、すばやく組織的に解決にあたる。 ②学校教育目標及び目指す学校像を常に念頭に置き、学年・学級経営を展開する。 ③児童に基礎・基本を定着させ、活用できる学力を身に付けさせる。 ④話し合い活動や実践活動を通して、豊かな心やよりよい人間関係を築く力をはぐくむ。 ⑤教育活動を分かりやすい言葉と子どもの姿で伝え、家庭、地域の理解と協力を得る。
指導の重点 思いやりのある子 進んで学ぶ子 たくましい子	指導の努力点 ○道徳的実践力、自主的・実践的態度の育成 ○基礎的な知識・技能の習得と表現力等の育成 ○健康の保持増進と自己目標設定による生活習慣形成

2 本校の取組

(1) 人間関係を築く力の育成

- ・学級活動を中核に据え、望ましい集団活動を通して人間関係を築く。
- ・PTAボランティアによる「朝のあいさつ運動」（毎月第1週）
- ・児童による「朝のあいさつ運動」の実施（全校児童・通学班ごと）
- ・「名札・あいさつ・廊下歩行」強化週間の実施（各学期1回）



（あいさつやる気隊）

(2) チームで支える生徒指導委員会の持ち方

- ・教育相談的視点に立った推進委員会の実施
- ・問題行動の早期発見、早期解消（一人一人の子どもと全体を見る。）
- ・配慮を要する児童の共通理解と担任以外の教職員の対応の確認
- ・「子と親の相談員」「学童の先生」との連携
- ・生徒指導委員会への子と親の相談員、学童職員の参加
- ・保健室、相談室等での支援、指導
- ・各学級、学年で気になる児童や配慮を要する児童の現状把握と対応策の検討



（通学班別あいさつ）

(3) 「チーム東」という教職員の共通理解・共通行動の徹底（指導の一貫性を図る）

- ・年度初めの「白岡東小学校、よい子のきまり」の確認
- ・「生徒指導だより」を配布（教職員）—生活目標及び、重点目標等の共通理解
- ・気になる児童、配慮を要する児童の共通理解、対応の確認（職員会議）
- ・迅速、正確な報告、連絡、相談、見届けの実行（教職員間で。保護者へ。関係機関へ）
- ・「してはならないこと」の徹底指導（個別指導、関係児童指導、学年指導、全体指導）
- *全校朝会における校長によるプレゼンテーション・掲示



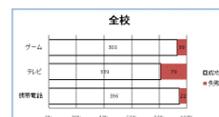
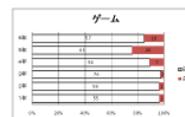
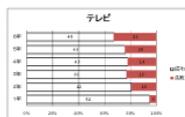
（校長講話）

(4) 教科指導の工夫

- ・学ぶ喜びを味わわせる学習活動の工夫・改善（校内研修）
- ・コース別少人数指導を取り入れた一人一人の学びを保証する問題解決学習の研究・実践
- ・分かる授業、楽しい授業の工夫・改善（サマースクールの実施）

(5) 家庭との連携と信頼関係の構築

- ・「白岡東小学校スクールプラン」「白岡市小学校の約束」「学校だより」「学年だより」等の配布
- ・懇談会・個別教育相談等の実施
- ・学校行事等の公開
- ・ふれあいデーの実施（6月）→結果



- ・規律ある態度に関する児童・保護者による自己評価（学期末）
- ・特に支援すべき児童の保護者とのきめ細やかな連絡と、よりよい指導の方法の模索

(6) 小中連携の具体的取組→具体的な実践は後半

(7) その他

- ・「いじめに関する調査」等の計画・実施（毎学期なかよしアンケート実施）
- ・「学級・学校生活満足度調査」の実施（年5回）
- ・高学年を対象とした携帯電話やネットトラブルに関する指導
- ・問題行動への即時対応・複数対応、全校朝会、学年集会の実施（いじめ、交通事故等）（いじめなし宣言）
- ・児童相談所との定期的な報告会



小中連携の具体的取組（参：今年度）

- (1) 5月 中学校区による教育相談連絡会 ----- 資料1
- ・参加校 篠津小学校・白岡東小学校・篠津中学校
 - ・参加者 旧6学年担任・現教育相談主任・校長または教頭
 - ・内容 配慮を要した児童の実態
*不登校・家庭環境上の問題・身体的障害
- (2) 7月 学校警察連絡協議会 ----- 資料2
- 12月
- ・参加校 白岡市全小中学校・白岡高等学校
 - ・参加者 久喜警察署生活安全課・交通指導員連絡協議会
埼玉県ネットアドバイザー
白岡市教育委員会・白岡市民生委員会
保護司・少年指導員・主任児童員
白岡市小中高等学校校長・生徒指導主任・PTA会長・校外指導委員長
 - ・内容 児童生徒の非行の現状と交通安全対策・事故防止
長期休業日における各校の事前指導
- (3) 8月 中学校区による夏休みの教育相談連絡会 ----- 資料3
- ・参加校 篠津小学校・白岡東小学校・篠津中学校
 - ・参加者 全職員
 - ・内容 配慮を要する児童の実態とその対策
グループ形式によるワークショップ（実児童の共通理解とその対策）
- (4) 2月 中学生と語る会
- ・参加校 篠津中学校・白岡東小学校
 - ・参加者 生徒会代表の中学生7～8人 白岡東小学校6学年全児童
 - ・内容 中学校生活を語り合い、中学校への不安を軽減する。
- (5) 3月 中学校区による教育相談連絡会 ----- 資料4
- ・参加校 篠津中学校・白岡東小学校
 - ・参加者 篠津中学校職員数人（現3学年担任が多い）・白岡東小学校現6学年担任
 - ・内容 配慮を要する児童の実態

3 今後の課題

一人一人を大切にし、信頼関係に立つ教育の推進とは、日常のほんの僅かな心配りの積み重ねと、専門職としての力量、普段の意図的・計画的な取り組みによって、初めて可能になると考えられる。そのためには児童生徒をよく知る手段として小中連携の取り組みは大変重要である。小中9年間の連携を見据えて互いに情報を共有して指導していくことは生徒指導上効果大であると思える。今後は小中学校の職員が授業を公開し合い、道徳や学活を含む教育課程の着実な実践による円滑な接続を更に進めたい。また、近接する高等学校との連携も強化していきたい。校長の指導・助言の下、一人一人の児童にとって最適な教育が行われるように、信頼関係がより確立されるように生徒指導主任として努力していきたい。